第２回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会次第

と　き　令和８年１０月２１日（水）

午前１０時から

ところ　碧南市役所５階　教育委員会室

１　開会

２　教育長あいさつ

３　会長あいさつ

４　議題

(1) 協議事項

令和８年度碧南市まなびさぽーと中学生の認定について　**資料１**

(2) 報告事項

令和８年度碧南市まなびさぽーと中学生の表彰式について　**資料２**

５　その他

６　閉会

令和８年度碧南市まなびさぽーと資金支給審査会委員名簿

氏　　名	役　　職　　名	選 出 基 準	備考
小田　智昭	碧南高等学校長	識見を有する者	会長
鈴木　政枝	碧南市主任児童委員代表	識見を有する者	
石原　隆明	東中学校ＰＴＡ会長	識見を有する者	
溝口　雅喜	新川中学校長	中学校長	副会長
山岸　芳樹	中央中学校長	中学校長	
鎌谷　祥行	学校教育課長	識見を有する者	

・碧南市まなびさぽーと資金支給に関する条例第１０条第２項の規定により、教育委員会が委員を任命することとなっている。
・碧南市まなびさぽーと資金支給に関する条例第１１条第２項の規定により、教育委員会が委員のうちから会長を任命することとなっている。
・任期：令和７年４月１日～令和９年３月３１日

資料１

碧南市まなびさぽーと中学生の募集と選考について

碧南市教育委員会

１　趣旨

碧南市まなびさぽーと資金の支給対象者（さぽーと中学生）を選出するため、中学生を対象に科学に関する研究作品を募集し、その中から優秀な作品を選考して、碧南市まなびさぽーと資金支給審査会に諮る。

２　募集要領

(1) 募集内容は「科学に関する研究」とし、その内容は、

Ａ　実験を中心に追究したもの

Ｂ　観察・採集を中心に追究したもの

Ｃ　調べ学習を中心に追究したもの　とする。

(2) 募集は年１回とし、夏休みに個人研究もしくは共同研究で募集する。

(3) 対象は市内の中学生とする。

(4) Ａ４レポート用紙１０枚程度とする。なお、本文中に貼付する表や写真などの資料は枚数に含む。作品がある場合は、一緒に提出する。

(5) 表紙に、研究題名（部門）、学校名、学年、組、氏名を明記する。

(6) 各学校で取りまとめ教育委員会学校教育課へ提出する。なお、受付期間及び提出期限は、募集のチラシなどで別途指示する。

３　審査

(1) 各学校代表の理科教諭で組織する選考委員会を設置し、応募作品の審査を行う。

(2) 選考委員会において、下記のとおり優秀作品を選出し、碧南市まなびさぽーと資金支給審査会に諮る。

ア　最優秀賞　　１点　　（１名又は１団体につき２０，０００円）

イ　優秀賞　　２点以内（１名又は１団体につき１０，０００円）

ウ　準優秀賞　　２点以内（１名又は１団体につき　５，０００円）

エ　努力賞　　１５点以内（１名又は１団体につき　２，０００円）

オ　きらり賞　２０点以内（１名又は１団体につき　１，０００円）

(3) 選考委員会の議事内容

優秀作品の選考のほかに、作品の募集・審査についての打合せ、次年度に向けての打

合せ等

4　表彰

審査の結果により、優秀な研究をした者またはグループの表彰を行う。

(1) 日時　　令和８年１１月１７日（火）午後４時１５分から４時４５分まで

(2) 場所　　会議室１（市役所２階）

(3) 内容　　表彰式（準優秀賞までの入賞者のみ）

※努力賞及びきらり賞の表彰は各学校において行う。

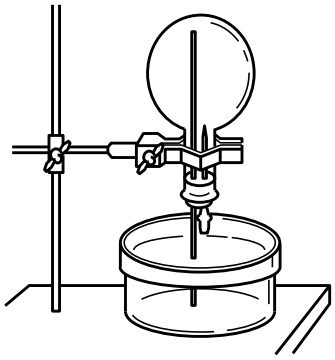
5　選考委員

委員長	○杉浦　哲	（西端中学校校長）		
委　員	○榊原　康治	（新川中学校）	○西川　力躍	（中央中学校）
	○藤浦　司	（南　中学校）	□藤浦　友梨香	（東中学校）
	○上辻　将	（西端中学校）	※○：継続、□：新規	

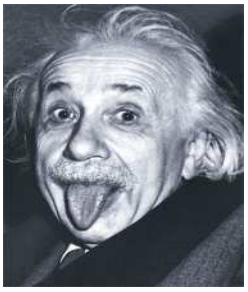
科学コンクール

募集のお知らせ

継続研究している個人やグループは、ぜひ応募してみよう！



『知識より想像力』



アルベルト・アインシュタイン

【募集要領】

１　内　容　　科学に関する研究

【部門】Ａ：実験を中心に追究したもの
Ｂ：観察・採集を中心に追究したもの
Ｃ：調べ学習を中心に追究したもの

２　対象者　　碧南市内の中学生、個人又はグループ

３　受　付　　令和８年９月１日（火）



４　提出先　　理科担当の先生まで

５　形　式　　Ａ４　１０枚程度のレポート形式
（写真・資料は、枚数に含む）
※作品がある場合は、一緒に提出
※表紙に、研究題名（部門）・学校名・学年・組・氏名を明記
※模造紙は不可

６　その他　　レポートは返却しません。碧南市の中学生の教育のために使用させていただきます。

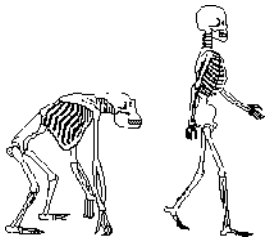
【表　彰】審査により、以下の賞を選出する。

★最優秀賞　２万円（１点以内）
★優 秀 賞　１万円（２点以内）　★努 力 賞　２千円（15点以内）
★準優秀賞　５千円（２点以内）　★きらり賞　　千円（20点以内）

■理科研究の進め方■

1　テーマを考える

① 理科に関係しているテーマを選ぶ。
② 自分の生活の中から見つけたテーマがよい。
③ いろいろな実験や観察ができそうなテーマがよい。
④ ある程度、疑問の答えが予想できる（仮説が立てられる）テーマがよい。
⑤ よいテーマを見つけることが、よい研究になるポイントである。



2　テーマについて事前調査をする

① 家の人、専門家などに聞く。
② 本で調べる。
③ インターネットで調べる。
④ 簡単な実験をしてみる

3　テーマを決定し、仮説を立てる

① 事前調査で解決してしまった場合は、「1　テーマを考える」に戻る。
② 事前調査をしているときに、新たに調べたいテーマが見つかった場合は、テーマを変更する。
③ 事前調査でテーマを明確にし、調べるポイントを絞る。
④ 自分なりの仮説を立てる。

4　追究する

① 仮説を確かめる実験方法を考え、実験する。
② 実験方法や測定方法など工夫し、実験を進める。
③ 実験を進める中で、仮説を訂正しながら、新たな実験方法を考え、実験する。また、新たな疑問が生じたときには、その都度、仮説を立て、実験を進める。（追究が深まるほどよい研究になる）
④ 実験の過程では、その都度、写真撮影をしておき、レポート作成のときに使用する。

5　研究のまとめのレポートを作成する

① これまでの優秀作品を参考にするとよい。（理科室の掲示板などに掲示してあります）
② 「■理科研究レポートの基本的なまとめ方■」（下記）を参考にする。
③ 見出しなど見やすいように、きれいに仕上げる。
④ 表や写真、グラフなどを使って分かりやすくする。
⑤ 家族や友達、先生に見てもらい、研究内容が分かりやすくまとまっているか確認し、わかりにくい箇所を訂正する。

■理科研究レポートの基本的なまとめ方■

以下のような順番でまとめていくと、すっきりまとまることが多い。しかし、必ずこれでなければならないというわけではないので、自分で考えてまとめる。まとめ方がよくわからないときは、先生に聞くとよい。

1　研究の動機

どうしてこの研究を始めようと思ったのか、その理由を簡単に書く。

2　研究を始める前に

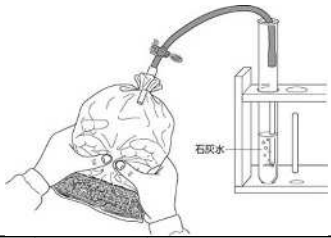
研究を始める前に、研究のヒントを得るため、事前調査を行う。
（1）家の人に聞く　（2）専門家に聞く　（3）本で調べる
（4）インターネットで調べる　（5）自分たちでやってみる

3　研究の目的

研究の目的をはっきりさせ、科学的に追っていく。

4　研究の内容

（1） 研究の仮説を立て、実験をし、その結果から１つずつ真実に迫っていく。
（2） 結果のまとめ方は、表やグラフなどにし、わかりやすくする。
（3） 実験の過程を写真で撮影しておき、レポートに貼りつけるとよい。



5　研究のまとめ

今までの研究をまとめ、研究の結論を出す。
※わかったこと、わからなかったことを明確にしておく。

6　おわりに

研究をやっての感想を簡単に書く。

【参考】過去の入選作品紹介 HP　http://www.city.hekinan.aichi.jp/kyouikuka/manabi/manabi.htm

令和８年度　第１回まなびさぽーと中学生の部選考委員会

日時　令和８年　６月２３日(火)
場所　碧南市役所５階教育委員会室

１　あいさつ（委員長）

２　内　　容

（１）選考委員について

委員長	○杉浦　哲	（西端中学校校長）		
委　員	○榊原　康治	（新川中学校）	○西川　力躍（中央中学校）	
	○藤浦　司	（南　中学校）	□藤浦　友梨香（東中学校）	
	○上辻　将	（西端中学校）	※○：継続、□：新規	

（２）第１回選考委員会（募集・審査について）

ア　募集について

※募集要項は各学校で印刷し、理科の時間に生徒に周知する。

・タイトル　碧南市まなびさぽーと事業　科学コンクール
・内　　容　科学に関する研究　Ａ　実験を中心に追究したもの
　　Ｂ　観察・採集を中心に追究したもの
　　Ｃ　調べ学習を中心に追究したもの
・対　　象　碧南市内の中学生、個人又はグループ
・応募締切　令和８年　９月　１日（火）　※各校で弾力的に設定
・提 出 先　理科担当教諭
・形　　式　Ａ４レポート用紙１０枚程度（写真・資料を含む）
　　作品がある場合は一緒に提出
　　表紙に、研究題名、部門、学校名、学年・組、氏名を明記
・賞　　①最優秀賞（２万円／1点以内）　②優秀賞（１万円／２点以内）
　　③準優秀賞（５千円／２点以内）
　　④努力賞（２千円／１５点以内　各学年各学校１点、最優秀・優秀・準優秀賞受賞の学年はなし）
　　⑤きらり賞（千円／２０点以内　着眼点・発想のユニークなものや優れているもの）

イ　審査について（資料NO１、NO２参照）

・審査方針、審査方法、審査の観点について

<u>各校校内代表作品について</u>

９月１１日（金）までに、ＰＤＦでセンターサーバー（0 指導資料→0 理科→まなびさぽーと関係）フォルダ内に入れる。
選考委員は、第２回委員会（９月２５日(金)）までに作品を閲覧し、最優秀賞・優秀賞・準優秀賞を考えておく。

（３）第２回選考委員会（優秀作品・努力賞・きらり賞選考会、表彰式に向けて）

・日時　　令和８年９月２５日（金）１５：００～
・場所　　教育委員会室
・事前に各校作品を読んでおき、３賞を選定する　　※裏面へ続く

（４）支給審査会（委員長が出席し説明）

・日時　　令和８年１０月２１日（水）１０：００～

・場所　　碧南市役所　５階　教育委員会室

（５）表彰式

・日時　　令和８年１１月１７日（火）１６：１５～

・場所　　会議室１（市役所２階）

・内容　　表彰及び講評（準優秀賞までの入賞者と保護者、所属校長）

（６）その他

センターサーバーの所定の場所（期日等後日連絡）に、次年度に検討、申送事項を入力する。委員会は開催しない。

令和８年度　第２回まなびさぽーと中学生の部選考委員会

令和８年　９月２５日(金)　１５：００～

碧南市役所　５階　教育委員会室

１　各校の応募状況

学校名	年度	部門	１年	２年	３年	合計
新川中	R7	A	72 点 (75 人)	37 点 (40 人)	53 点 (61 人)	162 点 (193 人)
		B	16 点 (18 人)	10 点 (12 人)	11 点 (12 人)	37 点 (40 人)
		C	18 点 (22 人)	39 点 (45 人)	34 点 (36 人)	91 点 (123 人)
		ものづくり	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)
	R8	A	94 点 (98 人)	63 点 (66 人)	38 点 (44 人)	195 点 (208 人)
		B	5 点 (5 人)	7 点 (7 人)	13 点 (13 人)	25 点 (25 人)
		C	11 点 (12 人)	29 点 (30 人)	43 点 (46 人)	83 点 (88 人)
		ものづくり	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)
中央中	R7	A	36 点 (42 人)	20 点 (24 人)	25 点 (31 人)	81 点 (97 人)
		B	6 点 (8 人)	2 点 (2 人)	3 点 (3 人)	11 点 (13 人)
		C	18 点 (17 人)	6 点 (6 人)	25 点 (29 人)	49 点 (52 人)
		ものづくり	19 点 (19 人)	46 点 (46 人)	18 点 (18 人)	83 点 (83 人)
	R8	A	40 点 (38 人)	36 点 (48 人)	17 点 (22 人)	93 点 (108 人)
		B	10 点 (10 人)	5 点 (5 人)	1 点 (1 人)	16 点 (16 人)
		C	13 点 (13 人)	13 点 (13 人)	5 点 (5 人)	31 点 (31 人)
		ものづくり	17 点 (17 人)	14 点 (14 人)	47 点 (47 人)	78 点 (78 人)
南中	R7	A	101 点 (122 人)	78 点 (105 人)	101 点 (112 人)	280 点 (339 人)
		B	25 点 (30 人)	40 点 (42 人)	25 点 (27 人)	90 点 (99 人)
		C	50 点 (58 人)	45 点 (50 人)	48 点 (52 人)	143 点 (160 人)
		ものづくり	1 点 (1 人)	2 点 (2 人)	1 点 (1 人)	4 点 (4 人)
	R8	A	73 点 (73 人)	105 点 (105 人)	122 点 (122 人)	300 点 (300 人)
		B	42 点 (42 人)	16 点 (16 人)	7 点 (7 人)	65 点 (65 人)
		C	17 点 (17 人)	67 点 (67 人)	62 点 (62 人)	146 点 (146 人)
		ものづくり	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)	0 点 (0 人)
東中	R7	A	62 点 (62 人)	36 点 (36 人)	41 点 (41 人)	139 点 (139 人)
		B	8 点 (8 人)	10 点 (10 人)	10 点 (10 人)	28 点 (28 人)
		C	32 点 (32 人)	26 点 (26 人)	28 点 (28 人)	86 点 (86 人)
		ものづくり	32 点 (32 人)	85 点 (85 人)	53 点 (53 人)	170 点 (170 人)
	R8	A	50 点 (58 人)	68 点 (68 人)	40 点 (41 人)	158 点 (167 人)
		B	12 点 (14 人)	7 点 (7 人)	6 点 (6 人)	25 点 (27 人)
		C	40 点 (43 人)	22 点 (22 人)	25 点 (25 人)	87 点 (90 人)
		ものづくり	29 点 (29 人)	31 点 (31 人)	85 点 (85 人)	145 点 (145 人)
西端中	R7	A	16 点 (16 人)	16 点 (16 人)	21 点 (21 人)	53 点 (53 人)
		B	4 点 (4 人)	5 点 (6 人)	3 点 (3 人)	12 点 (13 人)
		C	7 点 (7 人)	12 点 (12 人)	16 点 (18 人)	35 点 (37 人)
		ものづくり	26 点 (26 人)	25 点 (25 人)	21 点 (21 人)	72 点 (72 人)
	R8	A	18 点 (18 人)	11 点 (11 人)	13 点 (13 人)	42 点 (42 人)
		B	6 点 (6 人)	3 点 (3 人)	2 点 (2 人)	11 点 (11 人)
		C	18 点 (18 人)	4 点 (4 人)	9 点 (9 人)	31 点 (31 人)
		ものづくり	22 点 (22 人)	38 点 (38 人)	32 点 (32 人)	92 点 (92 人)
合計	R7	A	287 点 (317 人)	187 点 (221 人)	241 点 (266 人)	715 点 (821 人)
		B	59 点 (68 人)	67 点 (72 人)	52 点 (55 人)	178 点 (193 人)
		C	125 点 (136 人)	128 点 (139 人)	151 点 (163 人)	404 点 (458 人)
		ものづくり	78 点 (78 人)	158 点 (158 人)	93 点 (93 人)	329 点 (329 人)
		計	549 点 (599 人)	540 点 (590 人)	537 点 (577 人)	1626 点 (1801 人)
	R8	A	275 点 (285 人)	283 点 (298 人)	230 点 (242 人)	788 点 (825 人)
		B	75 点 (77 人)	38 点 (38 人)	29 点 (29 人)	142 点 (144 人)
		C	99 点 (103 人)	135 点 (136 人)	144 点 (147 人)	378 点 (386 人)
		ものづくり	68 点 (68 人)	83 点 (83 人)	164 点 (164 人)	315 点 (315 人)
		計	517 点 (533 人)	539 点 (555 人)	567 点 (582 人)	1623 点 (1670 人)

【最優秀賞】　１点
「髪の毛のキューティクル観察Ⅲ　～ブラッシングの効果と最適な回数～」

東中　松井（まつい）　杏樹（あんじゅ）　（３年）

本研究は、一昨年度の髪のケアの仕方、昨年度のストレートパーマが髪に及ぼす影響についての研究に続き、ブラッシングの仕方がキューティクルに与える影響を調べ、最適なブラッシングの方法を探るというものである。実験では、濡れた髪と乾いた髪について、ブラッシングする回数を変え、キューティクルの状態がどのように変化するかを調べている。結果として、濡れた髪よりも乾燥した髪のほうが傷みにくいこと、多すぎるブラッシングでは摩擦によって傷むことが分かった。

本研究は、キューティクルの状態を見た目ではなく数値化し、客観的にとらえている点が秀逸である。髪の部位やブラッシングの回数などの条件を細かく設定することで、より詳細なデータを収集し、個々の条件において丁寧な考察がなされている点も優れている。

【優秀賞】　１点
「殺虫剤はどの条件で最も対象に付着するか」

西端中　河合（かわい）　峻希（しゅんき）　（３年）

本研究では、身近な生活体験から生まれた疑問を、具体的な実験によって丁寧に検証している。殺虫剤の付着に影響する条件を「距離・角度・対象の速度・障害物」と整理し、それぞれについて仮説を立て、条件を変えながら複数回測定して、結果に説得力をもたせている。また、ゴキブリを想定した模型や 2㎜ 方眼を用い、薬液の付着面積を数値化することで、定量的に測定する方法を工夫している点も優れている。さらに、結果を示すだけでなく、調べて分かった薬剤の粒子の広がりと対象の動きと関連付けて考察し、より効果的な殺虫剤の使い方を導き出している点が優秀である。

【準優秀賞】　２点

①　「みかん長生き大作戦」

南中　佐藤（さとう）　友美（ともみ）　（２年）

本研究は、みかんのカビを防止したいという身近な願いを科学的に捉え、目的、仮説、条件設定を明確にしている。実験１では、湿度・温度・酸素などを変数として捉えている。カビが発生しない場合は、腐敗とカビの関係を見直し、バナナを用いた短期実験へ転換した発想が柔軟である。日を追った丁寧な観察から変化の様子が比較され、新たな仮説や実験設計に繋げている。研究の終末には生活のなかでのカビ対策を提案している点も評価できる。

研究全般に渡り、実験結果から考察したことをもとに次の実験につなげようとしており、科学的な思考力・探究力が発揮されている。

②　「地球にやさしいバイオマスプラスチック」

中央中　角谷（すみや）　昊軌（こうき）　（２年）

安定した石油供給が難しい時代に入り、石油価格が高騰するなか、石油に頼らずにプラスチックを作れないかと考えた。追究の過程でバイオマスプラスチックに出会い、豆乳、牛乳、片栗粉、ゼラチンなど手軽に手に入れられる材料でバイオマスプラスチックをつくり、強度や透明度、におい、扱いやすさなどの視点で比較した。

続いて、それぞれの素材の長所を組み合わることで、加工のしやすさや強度の調整を図っている。容器の性能として、水への耐久性や立体的な成型について検証し、バイオマスプラスチックの課題にも到達する密度の濃い研究となっている。

努力賞　　※入賞した学年については、「なし」と記入する。

学校名	学年	氏　　名	研　究　テ　ー　マ
新川中	1	鳥居　柚乃	カタツムリのうんこで虹は作れる？～食べ物の色とうんこの色の関係～
	2	宮澤　悠真	ペルセウス座流星群の出現時刻と数・方向の変化に関する考察～本当に放射点から流星は流れるのか～
	3	安藤　桃子	生態を脅かす外来植物～身近な自然に潜む危険の正体～
中央中	1	永田　優乃香	甲子園の土をつくれ！～聖地を支える土の黄金比へのみち～
	2	なし	
	3	加藤　志乃	ちりとりについて　ゴミが取り切れない原因と緩和方法
南　中	1	磯貝　凌雅	氷の違いに対する水の温度変化
	2	なし	
	3	磯貝　早希 磯貝　友里	Wi-Fiの快適な使用を目指して　～周波数と速度の関係から見える特徴～
東　中	1	井手　千景	主翼の形状による模型飛行機の飛行の違い
	2	稲垣　晴太 稲垣　颯太	身近な金属の錆び方
	3	なし	
西端中	1	合原　怜奈	集中学習と分散学習での記憶の定着度比較　☆一夜漬け派とコツコツ派はどちらがいいの？☆
	2	小笠原　あやめ	蒟蒻寒天ゼリーの濃度と硬化時間および濃度と美味しさの関係
	3	なし	

きらり賞

学校名	学年	氏　　名	研　究　テ　ー　マ	選考理由
新川中	1	長谷川　穂	3秒ルールは本当なのか？ ～食べ物が地面や床に触れる時間と変化～	実験方法は、寒天培地を用いており、時間の経過とともに菌の増殖を観察していた。検証結果に基づいてしっかりと実験結果をまとめられていた。
	2	原田　蒼生	ブランコロボットで遊びたい	模型を作って、パーツ変更して試行錯誤をしながら、最適な条件を追究するところがとてもよい。
	3	小島　碧月	クジラの声はなぜ遠くまで響くのか ～海の性質と環境変化から考える音の伝わり方について～	クジラの鳴き声に見立てるため、水を張った水槽のなかで鍋の蓋とスプーンを使って音を響かせる実験が面白い。
中央中	1	首藤　ひまり	リップの成分（染料・顔料・オイル）の違いによる「落ちにくさ」の比較検討	リップの成分に着目して、工夫された実験道具で落ちにくさを比較していた。
	2	金岡　沙和	ふっくらパンの秘密～カギは発酵．．．！？～	パンをふっくらと焼くためには、発酵の時間が大切であるという問いから様々な発酵時間を試して、ふっくらと焼くための最適な時間を見つけることができた。
	3	３年　本郷　羽海 １年　本郷　晟司	リチウムイオンバッテリーの火災危険について	日ごろ使っているハンディファン（リチウムイオン電池）の発火のニュースから、実際に消防署員の父監修のもと発火の実験を行った。
南　中	2	金原　未來	身近なもので作れるpH指示薬の色の変化：アントシアニンの成分の違いに着目して	１０種以上の野菜や果物からアントシアニンを抽出し、pH指示薬として変化が見られる範囲まで検証することができている。
	2	清水　奏介	血液型から自分のルーツを探る～～先祖からの血～～	曾祖父母まで血液型を聞き、兄弟を含めてABO式の血液型を特定しようとしており、祖父母までと、曾祖父２名を考察して確定していて、面白い。
	2	髙松　篤永	犬の耳の動きと音に対する反応～音の種類と呼ぶ人によって反応は変わるのか～	飼っている犬にさまざまな音を聞かせる中で自分の声を混ぜ、そこから家族が呼んだらどうなるかを追加実験しており、その反応の違いまでまとめられていた。
	2	宮腰　結翔	ロングキックの飛距離は筋肉で決まるのか	筋肉に注目するだけでなく、足を振る速度にも着目しており、自分なりに飛距離が伸びない原因にたどり着くことができた。これからの練習に期待したい。
東　中	3	鈴木　悠太	アルコール耐性と遺伝の規則性	家族のアルコール耐性を調べることにより、遺伝の規則性を見つけ、それぞれの持っている遺伝子の型を予測していた。
	3	伊藤　あさひ	パインに舌を巻く～ピリピリの正体とブロメタリンの働きを探る～	条件を変えたパイナップルと一緒に肉を漬け込んだ時の様子を観察することでパイナップルを食べたときに感じる舌のしびれについて考えた。
	1	竹田　晴	発電の仕組みを徹底解明～電気が生まれるまでの仕組みを探る～	発電の仕組みについて調べ、模型を自ら作成して条件を変えて多様な実験を行っていた。
	1	榊原　桃ノ翠	セミの一生を追ってードンゴロから羽化までー	セミの抜け殻を集め、どんな種類が多いのかを調べたり、羽化の様子を記録したりしていた。
西端中	3	長脇　若果菜	猫舌卒業 ～温かいお味噌汁が飲めるようになりたい～	熱さの感じ方に対して温度以外の甘さや苦み、飲み方の違いまで多様な方法で調べを行っている点
	3	村井　利羽	人は辛さをどこから感じているのか ～担々麺をおいしく食べるためにも～	辛さの感じ方に対して味覚以外に色やにおいなど視覚や嗅覚への刺激を取り入れてアプローチしている点

令和 ８ 年１０月２１日

碧南市教育委員会
教育長　　小 澤　徹　様

碧南市まなびさぽーと資金支給審査会
会長　　小 田　智 昭

令和８年度碧南市まなびさぽーと中学生の認定について（答申）

令和８年５月１１日付け８碧教庶第２３号にて諮問のありました令和８年度碧南市まなびさぽーと支給審査のうち、中学生の認定について碧南市まなびさぽーと資金支給審査会にて審査の結果、下記のとおり答申します。

記

諮問のあった次のまなびさぽーと中学生の認定については、異議がありません。なお、審査結果については、別添のとおりです。

１　最優秀賞　　１件
２　優秀賞　　１件
３　準優秀賞　　２件
４　努力賞　　１１件
５　きらり賞　１６件

以上

資料２

第２４回　碧南市まなびさぽーと（中学校の部）表彰式　実施計画

１　日　時

令和８年１１月１７日（火）午後４時１５分から４時４５分まで

２　場　所

市役所２階　会議室１

３　次　第

（１）開会のことば

（２）表彰並びにあいさつ（まなびさぽーと資金支給審査会会長）

（３）講評（受賞作品について）（選考委員長）

（４）閉会のことば

４　参加予定者

（１）最優秀賞受賞者

（２）優秀賞受賞者

（３）準優秀賞受賞者

（４）受賞者の保護者

（５）受賞者の中学校長

（６）まなびさぽーと資金支給審査会会長

（７）選考委員長

（８）市教委関係者　　教育長　教育部長　庶務課長　庶務係長
学校教育課長　学校教育課指導主事